

令和5年度 人文自然選択I・II・III 履修要領

1. 本科目の意義

医学・医療を取り巻く環境は、人工知能を含む情報科学技術の進歩、社会の超高齢化に伴う医療のあり方など、さまざまな方面から刻一刻と変化している。このような社会の中で医師としてより良い医療を実践するためには、人文社会学、自然科学など幅広い分野の教養を身につけておくことが極めて重要である。本科目は、これらの学問分野を幅広く学修することで多様な視点を獲得するとともに、医療を実践する上での総合的な力を醸成することを目的とする。

2. 履修の要領

人文自然選択I（1学期）、人文自然選択II（2学期）、人文自然選択III（3学期）を通じて、人文社会学系科目（表1）、自然科学系科目（表2）のそれぞれから少なくとも1科目ずつを履修しなければならない。履修科目は、4月に実施する履修希望調査の結果をもとに決定される。科目によっては授業内容の事情により定員が定められているため、希望者が定員を超えた場合には抽選により受講者を決定する。希望に添えない場合があることをご了承願いたい。

開講科目一覧

表1. 人文社会学系科目

科 目 名	科 目 責 任 者	開講学期		
		1 学期	2 学期	3 学期
社会思想史	竹 内 高 明	○		○
異文化間コミュニケーション	飯 塚 秀 樹	○	○	○
異文化理解－ヨーロッパ編	小 川 和 彦	○		○
文章の論理	菊 池 昌 彦	○		○
異文化理解－中国編	小鳥遊 信子	○		○
文学	頼母木 孝子	○		○
ドイツ文学	八 木 頼 子	○	○	
フィクションとファクトから学ぶ医療倫理	奥 田 竜 也	○		○
心理学と医療	野 畑 友 恵	○		
生命倫理と社会の課題を考えよう	上 杉 奈 々	○		
医療と人間・文化・社会	松 岡 佐 知	○		
名画で鍛える診療のエッセンス	森 永 康 平	○	○	○
医療と人権	竹 内 高 明		○	
イギリス文学概観	廣 田 美 玲		○	
異文化理解－ヨーロッパ編 旅、文化、歴史	小 川 和 彦		○	
失敗の考察	菊 池 昌 彦		○	
中国語－音読	小鳥遊 信子		○	
『ハムレット』の独白を読む	頼母木 孝子		○	
ガストロノミーとフランス文学	宮 川 知 子		○	○
臨床心理学	野 畑 友 恵		○	

科 目 名	科 目 責 任 者	開講学期		
		1 学期	2 学期	3 学期
日本発の医療・創薬を学ぶ	相 澤 直 樹		○	
研究の倫理と科学を考えよう～社会に結び付く研究って何だろう？～	上 杉 奈 々		○	
最後の日々と時間	W. R. Ade		○	
医学の中のドイツ語	能 登 慶 和			○
ドイツ文学（読解）	八 木 頼 子			○
発達心理学	野 畑 友 恵			○
医療倫理と決断の悩ましさを考えよう	上 杉 奈 々			○

表2. 自然科学系科目

科 目 名	科 目 責 任 者	開講学期		
		1 学期	2 学期	3 学期
生命現象を考える	馬 籠 信 之	○	○	○
化学実験初歩	梅 澤 規 子	○	○	○
薬用・有毒植物図鑑をつくろう！	阿 部 涉	○	○	
発生・生殖生物学	川 瀬 撰	○	○	○
健康科学	村 山 晴 夫	○	○	
アダプテッド・スポーツ	枝 伸 彦	○		
分子生理学入門－遺伝子改造への道	鹿子木 将 夫	○		
がん細胞を扱おう	矢 澤 卓 也	○	○	
医学・生物学研究のためのプロレゴメナ	W. R. Ade	○		
線形代数の基礎	小笠原 健		○	
医学と生化学	杉 本 博 之		○	
遺伝子工学入門：光る大腸菌をつくろう！	布 矢 純 一		○	
ノーベル賞から学ぶ免疫学	小 嶋 英 史		○	
がん免疫療法の誕生	杉 本 智 恵		○	
デジタル空間・ロボット等を通して医療・教育におけるSociety5.0を学ぶ	入 江 駿		○	
精子のはなし	藤ノ木 政 勝		○	
国際感染症学入門	桐 木 雅 史		○	
感じて、見て、考える 放射線の基礎	大 森 理 恵			○
大学構内の自然観察	阿 部 涉			○
スポーツ医学について学ぶ	枝 伸 彦			○
工学発展と医学研究	W. R. Ade			○